

令和4年度

「教育委員会の点検・評価」報告書

(令和3年度事務事業対象)

令和4年9月

那須町教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）第26条により、教育委員会は、毎年、教育委員会の事務の管理・執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとされています。同時に、点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、「那須町教育振興基本計画（総合教育ビジョン）～夢・感動あふれる人づくりを目指して～」に基づき、令和3年度の教育委員会の主要事業、教育委員会の開催状況等について、点検評価委員から点検・評価をいただいた結果を総括的にまとめたものです。

教育委員会では、この点検・評価を次年度への計画等に活かし、夢・感動あふれる人づくりを目指して、一層効果的・効率的な事務の執行に取り組んでまいります。

本町の教育・文化・スポーツの充実・発展のため、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

令和4年9月

那須町教育委員会

目 次

那須町が目指す人づくり（ライフステージ別）	1
Ⅰ 本町の「教育委員会の点検・評価」について	2
Ⅱ 教育委員会の活動状況について	4
Ⅲ 教育ビジョンに基づく点検評価対象事務事業	
学校教育課 7事業	11
生涯学習課 7事業	12
Ⅳ 令和3年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書	

○学校教育課

	事業名	ページ
1	ICT 教育推進事業	13
2	非常勤講師等配置事業	14
3	教育相談体制整備事業	15
4	英会話力向上事業	16
5	スクールバス運行事業	17
6	学校給食支援事業	18
7	中学生英語体験研修事業(中学生海外派遣事業)	19

○生涯学習課

No.	事業名	ページ
1	生涯学習推進事業	20
2	コミュニティ・スクール事業	21
3	町立公民館・自治公民館運営事業	22
4	歴史探訪館管理運営事業	23
5	図書館管理運営業務	24
6	保健体育推進事業	25
7	スイミングドーム管理運営事業	26

【那須町が目指す人づくり（ライフステージ別）】 令和4年度～

<p>◆ 妊娠期子育てビジョン ◆</p> <p>安心して誕生できる子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> ○お腹の子どもを温かく育み、誕生を喜びをもって迎える家庭 ○出産を迎える家庭を温かく見守り支えあう地域 ○安心して妊娠・出産ができるようしっかり支援する町 	<p><ステージ0></p>
<p>◆ 乳幼児教育・保育（家庭）ビジョン ◆</p> <p>家庭や地域の愛情に包まれる子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> ○愛情を受けて自分に自信がもてる子ども ○安心した環境で生活できる子ども ○遊びを通し、健康ですくすくと成長する子ども 	<p><ステージ1 - (1) ></p>
<p>◆ 幼児教育・保育（幼稚園・保育園等）ビジョン ◆</p> <p>健やかに成長し、笑顔の絶えない子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> ○夢や希望をもつ子ども ○自分の考えをもつ子ども ○願いや思いを、率直に言える子ども 	<p><ステージ1 - (2) ></p>
<p>◆ 学校教育ビジョン ◆</p> <p>夢と志をもち、多様化する社会で活躍できる「自立・自律」した子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自ら考え、判断し、行動できる子ども ○自己肯定感が高く、自信に満ち溢れ、たくましく生きる子ども ○多様性を認め、互いに尊重できる子ども ○探究心や好奇心旺盛で、「見えない学力」の高い子ども ○地域を誇れる子ども 	<p><ステージ2></p>
<p>◆ 青少年教育ビジョン ◆</p> <p>生き生きと輝き、希望を実現する青少年</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自立した社会性のある青少年 ○社会の一員として、社会に貢献できる青少年 ○日本の伝統・文化を基盤として国際社会をたくましく生きる青少年 	<p><ステージ3></p>
<p>◆ 生涯学習ビジョン ◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ○夢に向かうための教育の推進と青少年の健全育成 ○生涯にわたる学習機会の提供とその充実 ○「町民一人1スポーツ」の推進 ○文化芸術活動の促進による創造性豊かな人づくり 	<p><生涯ステージ></p>

コ
ミ
ュ
ニ
ケ
ー
シ
ヨ
ン

I 本町の「教育委員会の点検・評価」について

1 目的

教育委員会が立てた基本方針に沿って、具体的な教育行政が執行されているかについて、自らが点検・評価（以下「教育事務点検評価」という。）を行うことにより、効果的な教育行政を一層推進し、町民への説明責任を果たしていくことを目的とします。

2 教育事務点検評価の対象

町教育委員会では、教育基本法第17条第2項に基づき、令和4年度から5年間に取り組む町教育の方向性を広く町民に明確に示すとともに、教育行政を総合的・計画的に推進するため「第2期那須町教育振興基本計画（総合教育ビジョン）～夢・感動あふれる人づくりを目指して～」(以下「教育ビジョン」という。)を策定し、教育行政施策を推進しています。

教育ビジョンでは、今後10年を通じて目指すべき教育の姿に向け、一人一人の人間が、誕生する前の妊娠期から成長していくライフステージに応じた6つのステージ【那須町が目指す人づくり（ライフステージ別）】に分け、各ステージの施策ごとに取り組む事業を掲げています。

教育事務点検評価は、教育ビジョンに掲げられた事業のうち、町長部局が所管する3ステージ（ステージ0：妊娠期子育てビジョン、ステージ1-(1)：乳幼児教育・保育（家庭）ビジョン、ステージ1-(2)：幼児教育・保育（幼稚園・保育園等）ビジョン）を除く、町教育委員会所管の3ステージを対象としています。

町では、近年の学校教育における様々な変化や課題に柔軟に対応するため、幼稚園・保育園・認定こども園・小学校・中学校との連携により情報の共有を図り、子ども一人一人の状況に応じた支援体制を確立させる必要があることから、令和4年度から、子ども子育て施策を担当する「こども未来課」を教育委員会に移管しました。

これに伴い、令和5年度から教育ビジョンに掲げた全ての事業が、教育事務点検評価の対象事業となります。

具体的な対象事業は、町教育委員会が前年度に実施した事務の管理及び執行のうち、教育委員会の主要事業として承認されている事業から、主だった事業としています。

(令和3年度対象事業)

- ◆ステージ2：那須町学校教育ビジョン
- ◆ステージ3：那須町青少年教育ビジョン
- ◆生涯ステージ：那須町生涯学習ビジョン

3 教育事務点検評価結果の構成

○担当課

事務事業を所管する担当課及び係名を記載しています。

○事業概要

教育委員会において教育委員会事業の主要事業として承認を受けている事業の中から、主だった事業について、令和3年度中の実施状況を記載しています。

○成果及び課題

事務事業に対し、担当課による成果・課題と内部評価を記載しています。

A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い(外部評価と共通)

○点検評価委員からの主な意見

点検評価委員からいただいた主な意見と外部評価を記載しています。

○今後の方向性

点検及び評価結果を踏まえ、担当課による今後の方向性を記載しています。

4 教育事務点検評価の方法

①自己評価

町教育委員会所管の3ステージのうち、前年度に実施した事業の取り組み状況について自己評価を行い、成果や課題について明らかにしました。

②点検評価委員会の開催(各担当係長による事業説明)

地教法に基づき、教育に関し学識経験を有する方で構成する点検評価委員会を開催し、各担当係長から自己評価した事業の取り組み内容について説明を行いました。

③点検評価委員会の開催(点検評価委員からの意見・提言)

各担当係長による事業説明を踏まえ、事業の取り組み状況や自己評価に対して、意見・提言をいただきました。

5 点検評価委員の設置

点検・評価の客観性の確保を図るため、教育に関し学識経験を有する方の知見を活用するため、町教育委員会が次の方々を委嘱しました。(任期は2年とし、再任を妨げません。)

氏名	役職	任期
関口 周治	元那須町立黒田原中学校長	令和3年7月1日～令和5年3月31日
渡邊 明彦	元那須町立田代友愛小学校長 社会教育主事	

6 議会への報告

令和4年8月に議会へ報告し、那須町のホームページで公表します。

II 教育委員会の活動状況について

1 教育委員会制度

教育委員会は、都道府県及び市町村等に置かれる行政委員会であり、教育長と教育委員の構成による合議制の執行機関です。創造的で人間性豊かな人材を育成するため、生涯学習の推進はじめ、教育、文化、スポーツの振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進していく上で、教育委員会制度は重要な役割を担っています。

(教育委員会制度の根拠法律：地方教育行政の組織及び運営に関する法律)

教育委員会制度の意義としては、①地方自治の尊重、②教育行政の政治的中立性と継続性・安定性の確保、③指導行政の重視、④教育行政と一般行政の調和、⑤国・都道府県・市町村の連携、⑥生涯学習など教育行政の一般的な推進、の6つがあります。

教育委員会は、教育委員会の代表者である教育長と4人の非常勤の教育委員をもって組織されており、町長が任命しています。

教育委員は、教育行政や学校運営が教育の専門家だけの判断に偏ることがないように、広く社会の常識や住民のニーズを施策に適切に反映させることができる、一般的な学識、経験が豊かであり、人格が高潔な方を適任者としています。

教育委員と教育長の合議により町の教育基本方針を決定し、教育行政の専門家として教育長が事務局を統括して執行する仕組みとなっています。

(「四訂版 教育委員会必携」引用)

2 那須町教育委員会について

令和4年8月1日現在

職名	氏名	委員任期
教育長	平久井好一	令和2年10月1日～令和5年9月30日
教育長職務代理者	大森源一郎	令和3年10月1日～令和7年9月30日
委員	鈴木尚裁	令和2年10月1日～令和6年9月30日
委員	菊地昭一	平成30年10月1日～令和4年9月30日
委員	菊地厚子	令和元年10月1日～令和5年9月30日

○教育長

教育長は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育行政に関して識見を有する者のうちから、地方公共団体の長が、議会の同意を得て任命します。

教育長の任期は3年です。

○教育委員

教育委員は、当該地方公共団体の長の被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有する者のうちから、地方公共団体の長が、議会の同意を得て任命します。

委員の任期は任命の日から起算して4年ですが、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間となります。また、委員は再任されることもできます。

地教行法に基づく教育委員会の発足時（昭和31年）の委員の任期が、1年委員1人、2年委員1人、3年委員1人、4年委員2人と定められ、これを後任者が引き継ぐことによつて、教育委員は毎年一部ずつ解任される仕組みとなっています。これは、委員の改任により急激に教育委員会の行政方針が変わることを避けるとともに、地方公共団体の長及び議会の議員の任期が4年であることとも関連して、委員の任命を通じて教育行政の安定性、中立性が脅かされることを防ぐためです。（「四訂版 教育委員会必携」引用）

3 教育委員会議等の運営及び開催状況等

那須町教育委員会は、原則として年6回の定例会を開催しています。また、緊急を要する場合などの必要に応じて臨時会も開催しています。

令和3年度の開催状況は、次のとおりです。

No	会議名	会議名	開催年月日	出席委員数
1	第1回教育委員会	定例会	令和3年4月21日	4人
2	第2回教育委員会	定例会	令和3年7月26日	4人
3	第3回教育委員会	定例会	令和3年10月1日	4人
4	第4回教育委員会	定例会	令和3年11月17日	3人
5	第5回教育委員会 （書面開催）	定例会	令和3年2月16日	4人
6	第6回教育委員会	定例会	令和4年3月16日	4人

4 教育委員会議の内容

教育委員会は原則公開ですが、人事に関する議案を審議する場合等では、出席委員の3分の2以上の多数をもって、非公開の会議とする場合があります。

町民が傍聴をしやすくするため、会議の開催日時や場所、協議事項等を告示しています。

○令和3年度教育委員会定例会の審議内容

会議名	議案番号	件名	
第1回教育委員会	議案第1号	令和3年度教育委員会事業について	
	報告事項1	各種許可・認定状況について	
	報告事項2	令和3年度那須町教育委員会関係行事予定について	
	教育長報告		令和3年度町内小中学校長・教頭・教務主任一覧について
			令和3年度那須町教育委員会の具体的な努力点について
			「令和2年度学校働き方改革のための取組状況調査」結果について
			学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について
			年度始め学校訪問について
			東京オリンピック聖火リレーについて
			葉山町との友好都市締結について
	令和3年度会津美里町との野球交流会について		
第2回教育委員会	議案第1号	令和4年度使用教科用図書の採択について	
	議案第2号	社会教育委員への諮問について	
	報告事項1	各種認可・認定状況について	
	報告事項2	那須町教育委員会事務点検評価実施要綱の新規制定について	
	報告事項3	那須町幼保小中一貫教育推進委員会設置要綱の新規制定について	
	教育長報告		校長から「リーダービジョンシート」の提出を求めることについて
			家庭教育支援講演について
			小学生英語宿泊体験研修参加者選考会実施について
			町議会議員研修会予定について
			3町村スポーツ交流実施について
		那須町ジュニアゴルフ大会ロイヤルカップについて	
	とちぎ国体自転車ロードレースリハーサル大会について		
第3回教育委員会	報告事項1	教育委員会委員の任命について	
	報告事項2	令和3年度「教育委員会の点検・評価」報告書について	
	報告事項3	各種認可・認定状況について	
	議案第1号	これからの那須町の教育について	
	教育長報告		令和4年度庁内機構組織の再編について
			町内小中学校における緊急事態宣言期間中の教育活動に

		ついて	
		本日現在の児童生徒欠席状況について	
		家庭教育支援講演について	
		町議会議員研修会において「那須町の人づくり」について 講話したことについて	
		那須町ジュニアゴルフ大会ロイヤルカップについて	
		とちぎ国体自転車ロードレースリハーサル大会について	
		9月議会一般質問について	
第4回教育委員会	議案第1号	令和4年度那須町教育委員会主要事業等計画（案）について	
	議案第2号	那須町教育振興基本計画の策定について	
	報告事項1	各種許可・認定状況について	
	教育長報告		8月分児童生徒用タブレット通信費大きくオーバーしたことについて
			来年度の学校経営に向けて
			町教育振興会全体研修会の実施について
			オンラインによる家庭教育支援研修会の実施について
			和い輪い学習フォーラムの実施について
	「人権フェスタ in 那須町」の開催について		
	12月議会の一般質問について		
第5回教育委員会	議案第1号	令和4年度那須町教育委員会主要事業等予算（案）について	
	議案第2号	那須町教育振興基本計画の策定について	
	議案第3号	那須町立小中学校文書取扱規程の一部改正について	
	議案第4号	那須町文化芸術・スポーツ顕彰規則の一部改正について	
	議案第5号	閉校となった那須町立小学校及び中学校の体育施設の利用に関する要綱の全部改正について	
	報告事項1	各種許可・認定状況について	
第6回教育委員会	議案第1号	地方自治法の規定に基づく事務の補助執行の協議について	
	議案第2号	那須町教育委員会事務局組織規則の一部改正について	
	議案第3号	那須町小中学校管理規則の一部改正について	
	議案第4号	那須町教育振興基本計画の策定について	
	議案第5号	県費負担教職員人事異動の内申について	
	報告事項1	各種認可・認定状況について	

	教育長報告	第2期那須町教育振興基本計画（総合教育ビジョン）策定について
		来年度の学校経営に向けて
		不登校を減らすための新たな取組みについて
		不登校に対する文科省の考え方の変遷について
		第4回プレゼンフェスティバルの実施について
		いちご一会とちぎ国体の開催について
		「東陽小学校、子どもたちからのメッセージ」から感じたこと
		仮称「部活動の在り方検討委員会」新年度設置について
		3月議会一般質問について

5 総合教育会議について

地教行法第1条の3の規定に基づき、地方公共団体の長は、その地域の实情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱（以下「大綱」という。）を定めなければなりません。

大綱の策定に関する協議及び教育条件の整備等重点的に講ずべき施策、児童生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に講ずべき措置について、地方公共団体の長は、地方公共団体の長と教育委員会により構成する総合教育会議を設け、協議・調整を行うことになっています。

○令和3年度総合教育会議の開催状況

実施年月日	協議内容
令和3年6月24日	<p>(出席者)</p> <p>町長部局：町長、総務課長、企画財政課長</p> <p>教育委員会：教育長、教育委員4名、学校教育課長、生涯学習課長、学校教育課課長補佐、係長、生涯学習課長補佐</p> <p>(場 所) 那須町役場特別会議室</p> <p>(協議事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT教育環境の現状について ・那須町教育振興基本計画の策定について
令和3年11月17日	<p>(出席者)</p> <p>町長部局：町長、総務課長、企画財政課長</p> <p>教育委員会：教育長、教育委員3名、学校教育課長、生涯学習課長、学校教育課課長補佐、指導主事、生涯学習課長補佐</p>

	(場 所) 那須町役場特別会議室 (協議事項) ・ 那須町の教育の現状と課題について ・ 那須町教育振興基本計画策定の進捗状況について
令和4年3月22日	(出席者) 町長部局：町長、総務課長、企画財政課長 教育委員会：教育長、教育委員4名、学校教育課長、生涯学習課、 学校教育課課長補佐、生涯学習課長補佐、社会教育主事 (場 所) 那須町役場正庁 (協議事項) ・ 那須町コミュニティ・スクールについて

6 教育委員会の議論の活発化のために

教育委員は、地域の様々な行政課題に迅速かつ的確に対応し、定例会や臨時会、総合教育会議において活発な議論を行い適切な判断ができるよう、教育行政の課題について理解を深めるための施策への勉強会や研修会への参加、学校訪問などを実施しています。

○令和3年度教育委員活動状況

No.	期 日	場 所	内 容	備 考
1	4月29日	那須町運動公園	那須町・会津美里町中学生交流事業(野球)	感染拡大防止のため中止
2	5月28日	千葉県市原市	関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会	感染拡大防止のため書面決議
3	6月22日	那須高原小	計画訪問	
4	7月20日		那須地区市町村教育委員会連合会視察研修	感染拡大防止のため中止
5	9月5日	那須町特設ロードレース・コース	いちご一会とちぎ国体自転車競技リハーサル大会	感染拡大防止のため中止
6	9月16日	黒田原小	計画訪問	
7	9月28日	各小中学校	和い輪い学習フォーラム	
8	11月10日	県庁・研修館	栃木県市町村教育委員会連合会研修会・情報交換会	

9	11月13日	那須町 文化センター	那須町・会津美里町中学生交流事業 (音楽)	感染拡大防止 のため中止
10	2月5日	オンライン	那須町プレゼンフェスティバル	

Ⅲ 教育ビジョンに基づく点検評価対象事務事業

【学校教育課】

(単位：千円)

No.	事業名	事業費	事業概要
1	ICT教育推進事業	86,646	児童生徒1人に1台タブレット端末を整備するとともに、ICT支援員の派遣、校内ネットワーク保守管理等を行う。プログラミング教育推進スーパーバイザーを引き続き雇用し、小学校で本格実施されたプログラミング教育を推進する。人工知能型学習ソフト等の導入により、ICT教育環境の整備と教員の負担軽減を図る。
2	非常勤講師等配置事業 (会計年度任用職員費)	100,861	学習生活支援、授業支援、英語活動、通級支援、理科支援、図書支援等の学習指導助手を各小中学校に配置する。
3	教育相談体制整備事業	17,418	スクールソーシャルワーカー(SSW)、作業療法士(OT)を1名ずつ雇用し、児童生徒と保護者の相談業務、学習生活面の改善指導・助言を行う。教育相談員4名との連携により、不登校未然防止及び家庭支援の機能をより強化する。
4	英会話力向上事業	2,730	「聞く・話す」能力に重点を置いた英語教育を進めるため、中学校全生徒を対象に、1レッスン25分、2～3名を1グループとしたグループレッスンを年間8回実施する。
5	スクールバス運行事業	182,858	小中学校の適正配置に合わせスクールバス(小学校14台、中学校10台、予備車2台、合計26台)を運行し、保護者の負担を軽減する。また車両更新を計画的に行い、児童生徒の通学の安全を確保する。
6	学校給食支援事業	10,000	給食費段階的無償化事業からのシフト事業。 給食費支援として、児童生徒割で各学校給食会計に配分する。
7	中学生英語体験研修事業 (中学生海外派遣事業)	472	(新型コロナ感染防止のため令和3年度は事業代替) 福島県天栄村にあるブリティッシュヒルズでの英語体験活動を実施し、児童の興味を高める。

Ⅲ 教育ビジョンに基づく点検評価対象事務事業

【生涯学習課】

(単位：千円)

No.	事業名	事業費	事業概要
1	生涯学習推進事業	5,583	多様化した学習ニーズに応えるため、生涯学習の推進及び学習環境の充実を図る。 ・各種生涯学習講座の開催 ・成人式開催 ・自治公民館等施設整備費補助
2	コミュニティ・スクール事業	4,380	「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」に取り組むため、地域住民等が学校運営全般に参画する仕組みとして全小中学校に学校運営協議会を設置し、学校教育支援を図る。 ・学校運営協議会委員報酬 ・地域教育コーディネーター報酬 ・研修会開催
3	町立公民館・自治公民館運営事業	13,365	町立4公民館（那須、芦野、伊王野、高原）の運営及び41自治公民館活動支援交付金の交付。
4	歴史探訪館管理運営事業	5,559	那須歴史探訪館の施設維持管理及び各種企画展を開催する。
5	図書館管理運営業務	45,958	町立図書館運営管理委託（指定管理）及び施設修繕を行う。
6	保健体育推進事業	5,907	町民が健康で活気にあふれ、生きがいある生活が送れるよう「町民一人1スポーツ」をスローガンに、子ども～高齢者までのスポーツによるまちづくりを推進する。 ・駅伝大会等開催 ・全国大会等出場選手激励 ・町体育協会補助等
7	スイミングドーム管理運営事業	55,106	スイミングドーム運営管理業務委託（指定管理）及び修繕を行う。余笹川ふれあい公園遊具設置を行う。

令和3年度那須町教育委員会事務事業点検評価調査

事業名	ICT教育推進事業				
担当課	学校教育課学校教育係				
制度区分	<input checked="" type="checkbox"/> 補助（国・県）		<input type="checkbox"/> 町単独		<input type="checkbox"/> その他
事業概要	目的	児童生徒1人に1台タブレット端末を整備するとともに、ICT支援員の派遣、校内ネットワーク保守管理等を行う。プログラミング教育推進スーパーバイザーを引き続き雇用し、小学校で本格実施されたプログラミング教育を推進する。人工知能型学習ソフト等の導入により、ICT教育環境の整備と教員の負担軽減を図る。（継続拡充）			
	取組実績	令和2年度に引き続き、プログラミング教育推進スーパーバイザーを1人、GIGAスクールサポーターを2人雇用し、ICT支援員と連携しながら学校のICT教育支援を行った。また昨年度導入したオンライン学習ソフトを継続利用しつつ、新たに教育コンテンツ配信サービスの導入を行った。また、タブレットの共用によるコロナ感染リスクを減らすため各小学校にタブレット端末用キーボードを購入した。			
	経過年度事業実績	R1	iPad導入410台 LTE通信料、電子黒板リース料、情報教育用PCリース料等		
		R2	iPad導入991台、Macbook1台導入 LTE通信料、電子黒板リース料、情報教育用PCリース料等		
	R3	タブレット端末用キーボード450台（小学校） LTE通信料、電子黒板リース料、情報教育用PCリース料等			
	事業費 (単位：千円)		R1	R2	R3
		決算額	38,976	158,507	86,646
成果及び課題	成果	小学校にタブレット端末用キーボードを整備することにより、タブレットの共用による新型コロナウイルス感染を防止し、より最適な学習環境を整備することができた。また令和2年度に引き続き、ICTの専門知識を有する人材を雇用することにより、教職員のICT活用能力の向上のための授業支援やサポート体制を強化することができた。			内部評価
	課題	令和3年度は国の補助制度を利用してGIGAスクールサポーター2名、プログラミング教育推進スーパーバイザー1名を雇用したが、補助制度は令和3年度で終了しており、令和4年度は、GIGAスクールサポーターの雇用は行っていない。充実したICT学習教育環境維持のため、国に対し支援を要望していく必要がある。			A
点検評価委員からの主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・国のGIGAスクール構想に向け、ICTを活用した教育環境は整備されており、良くできている。 ・ICTを活用した授業づくりは、先生方の負担増にならないよう支援を更に充実して欲しい。 ・ICT学習教育環境維持に向け、国に対し支援を要望する必要がある。 			外部評価	
				A	
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 事業拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 修正継続 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 廃止				

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和3年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

事業名	非常勤講師等配置事業（会計年度任用職員費）					
担当課	学校教育課学校教育係					
制度区分	<input type="checkbox"/> 補助（国・県）		<input type="checkbox"/> 町単独		<input checked="" type="checkbox"/> その他	
事業概要	目的	学習生活支援、授業支援、英語活動、通級支援、理科支援、図書支援等の学習指導助手を各小中学校に配置する。（継続）				
	取組実績	教育活動指導助手26名、授業支援2名、英語活動（ALT）5名、言語通級指導2名、理科支援2名、図書支援2名、計39名を雇用し、配慮が必要な児童生徒の学習生活支援等を行った。				
	経過年度事業実績	R1	38名	教育活動指導助手25名（▲1） ALT5名（▲1）、図書支援員2名（+2）		
		R2	38名	教育活動指導助手25名、授業支援2名、ALT5名、言語通級指導2名、図書支援員2名、理科支援員2名		
	R3	39名	教育活動指導助手26名、授業支援2名、ALT5名、言語通級指導2名、図書支援員2名、理科支援員2名			
			決算額	R1	R2	R3
				83,444	109,842	100,861
成果及び課題	成果	配置人数は令和2年度と同様だが、指導助手の配置により、支援が必要な児童生徒に対し、きめ細かな対応をすることができ、よりよい学習環境を整えることができた。また、理科支援や図書支援など、専門知識を有する人材が各学校を巡回することで、教職員の負担軽減を図ることができた。				内部評価
	課題	支援が必要な児童生徒は増加傾向にあり、教諭に過度な負担がかからぬよう、十分な人数の指導助手を雇用し、各学校に適切に配置する必要がある。令和2年度から会計年度任用職員制度が導入され職員の待遇改善が図られた一方、予算額は増大しているため、利用可能な国の補助制度を活用し、財源確保に努める必要がある。				A
点検評価委員からの主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・他自治体では、非常勤講師等が減員されている中、本町は人員が維持されており、学校現場としては非常に有難い。 ・子どもたちが多様化している中、支援が必要な児童生徒に対してきめ細やかな支援を行うため、今後も人員配置の維持に努めること。 ・非常勤講師等の質の向上に向けて、研修の機会の確保や定期的な異動を行うこと。 				外部評価	
					A	
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 事業拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 修正継続 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 廃止					

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和3年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

事業名	教育相談体制整備事業				
担当課	学校教育課学校教育係				
制度区分	<input type="checkbox"/> 補助(国・県)		<input type="checkbox"/> 町単独		<input checked="" type="checkbox"/> その他
事業概要	目的	スクールソーシャルワーカー(SSW)、作業療法士(OT)を1名ずつ雇用し、児童生徒と保護者の相談業務、学習生活面の改善指導・助言を行う。教育相談員4名との連携により、不登校未然防止及び家庭支援の機能をより強化(継続拡充)			
	取組実績	教育相談室に教育相談員2名が常駐し、学校不適応傾向にある児童生徒、保護者及び学校へ適切な支援を行い、児童生徒の健やかな学びの場づくりに貢献した。また、中学校相談員2名、作業療法士1名、スクールソーシャルワーカー1名を雇用了。			
	経過年度事業実績	R1	教育相談員2名、小学校相談員0名(▲2)、中学校相談員2名 作業療法士1名(+1) スクールソーシャルワーカー1名(+1)		
		R2	教育相談員2名、中学校相談員2名、作業療法士1名 スクールソーシャルワーカー1名		
	事業費 (単位:千円)		R1	R2	R3
		決算額	14,641	17,837	17,418
成果及び課題	成果	令和3年度は7名が通室し、原籍校への復帰を目指した。教育相談員、作業療法士、スクールソーシャルワーカーが他機関と連携し、配慮が必要な児童生徒の支援に向けて教育相談体制を強化することができた。			内部評価
	課題	令和2年度と比較すると通室児童生徒数は4名減少したが、今後も、配慮が必要な児童生徒への教育相談体制を強化していく必要がある。			A
点検評価委員からの主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校になる原因は様々であり複雑に絡み合っているため難しい問題である。 ・教育機会確保法が改正されたことにより、児童生徒の個々の考え方を尊重することも大切であると思うが、人間としての根っこの部分を育てるためにも学校での集団生活で培われることがたくさんある。 ・新たな不登校児童生徒を生まないため、学校では学級経営の強化に努めており、良く取り組まれている。 ・教育相談員、作業療法士、スクールソーシャルワーカーが連携し、配慮が必要な児童生徒への相談体制が強化され、居場所づくりに向けて良く取り組まれている。 				外部評価
					A
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 事業拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 修正継続 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 廃止				

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和3年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

事業名	英会話力向上事業				
担当課	学校教育課学校教育係				
制度区分	<input type="checkbox"/> 補助（国・県）		<input checked="" type="checkbox"/> 町単独		<input type="checkbox"/> その他
事業概要	目的	「聞く・話す」能力に重点を置いた英語教育を進めるため、中学校全生徒を対象に、1レッスン25分、2～3名を1グループとしたグループレッスンを年間8回実施する。（継続）			
	取組実績	中学校において1グループ年7回のレッスン、英検I B Aの受検を年1回実施した。			
	経過年度事業実績	H 3 0 レッスン年8回、英検I B A年2回 R 1 レッスン年8回、英検I B A年2回 R 2 レッスン年8回、英検I B A年2回 R 3 レッスン年7回、英検I B A年1回			
	事業費 (単位：千円)		R1	R2	R3
	決算額	3,079	2,893	2,730	
成果及び課題	成果	ネイティブ英語に触れる機会を持ち、英会話力を向上させることができた。			内部評価
	課題	令和2年度は、学校行事との調整がつかず8回実施できなかったクラスがあったため、令和3年度はレッスン回数を7回に減らし、英検I B Aも1回に減らした。令和4年度も同様としたが、今後の受講の方針を検討する必要がある。			A
点検評価委員からの主な意見	・ネイティブ英語に触れる機会を持つことで英会話力を向上させることになっていると思うが、級や点数などの具体的な目に見える成果により、効果が分かりやすくなる。受講の方針を検討する場合は、これについても含めて検討すること。				外部評価
					A
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 事業拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 修正継続 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 廃止				

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和3年度那須町教育委員会事務事業点検評価調査

事業名	スクールバス運行事業				
担当課	学校教育課学校教育係				
制度区分	<input type="checkbox"/> 補助（国・県）		<input checked="" type="checkbox"/> 町単独		<input type="checkbox"/> その他
事業概要	目的	小中学校の適正配置に合わせスクールバス（小学校14台、中学校10台、予備車2台、合計26台）を運行し、保護者の負担を軽減する。また車両更新を計画的に行い、児童生徒の通学の安全を確保する。（継続拡充）			
	取組実績	東陽小6台、学びの森小2台、田代友愛小2台、那須高原小2台、黒田原小2台、那須中4台、那須中央中6台、予備車2台、計26台の運行管理を行った。			
	経過年度事業実績	H30 小学校12台、中学校9台、予備車1台 R1 小学校14台（+2）、中学校9台、予備車1台 R2 小学校14台、中学校10台（+1）、予備車2台（+1） R3 小学校14台、中学校10台、予備車2台			
		事業費 （単位：千円）		R1	R2
	決算額	172,788	177,250	182,858	
成果及び課題	成果	児童338名、生徒196名が利用し、児童生徒の安全の確保を図ることができた。			内部評価
	課題	車両の老朽化により修繕費用が増大しているため、計画的な車両の入替えが必要である。運行委託料も多額な費用となっているため、運行経路の見直し等について、地域住民の理解を図りながら進める必要がある。また土曜日の部活便などは、利用者がいない中、運行している場合もあり、経費節減のため部活便利用者の把握方法などを見直す必要がある。			A
点検評価委員からの主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費が膨大である。 ・登下校時以外に学校行事などでも使用しているが、町外への遠足などにも使用可能にすることで、費用面での保護者の負担も軽減され有効活用が図られる。 ・利用する生徒の有無に関わらずスクールバスでの部活便を運行しているのは予算の適正な支出の観点では問題である。利用する生徒を把握して必要なバスだけを運行し経費節減に努めること。 				外部評価
					A
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 事業拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 修正継続 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 廃止				

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和3年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

事業名	学校給食支援事業				
担当課	学校教育課学校教育係				
制度区分	<input type="checkbox"/> 補助（国・県）		<input checked="" type="checkbox"/> 町単独		<input type="checkbox"/> その他
事業概要	目的	給食費段階的無償化事業からのシフト事業。 給食費支援として児童生徒割で各学校給食会計に配分する。（継続拡充）			
	取組実績	学校給食費支援事業費負担金として、町から小学校6校に合計6,300,000円、中学校2校に合計3,700,000円を支給し、保護者の給食費の負担軽減を図った。			
	経過年度 事業実績	R 1 小学校875袋、中学校661袋 R 2 小学校875袋、中学校698袋 R 3 小学校6校6,300,000円、中学校2校3,700,000円			
		事業費 (単位：千円)	決算額	R1 5,036	R2 5,154
成果及び課題	成果	町から各小中学校に学校給食費支援事業費負担金を支払うことで、保護者の給食費の負担軽減を図ることができた。			内部評価
	課題	全無償化に向けては約8,000万円の費用がかかることから、財源確保が困難な状況である。令和4年度は、総額1,000万円を各小中学校配当予算に組み入れて予算措置を行ったが、今後の方向性について検討する必要がある。			A
点検評価委員 からの主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者にとって、とても有難い事業である。 ・給食施設も老朽化しているため、拠点となる学校で作られた給食を配送する親子方式や給食センターで一括して給食を作り配送するセンター方式などの検討もせざるを得ないと思うが、自分の学校で作られる自校方式は美味しいだけでなく、食育にもつながる。 ・地域での生産物を使った地産地消による食育も促進して欲しい。 				外部評価
					A
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 事業拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 修正継続 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 廃止				

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和3年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

事業名	中学生英語体験研修事業（中学生海外派遣事業）				
担当課	学校教育課学校教育係				
制度区分	<input type="checkbox"/> 補助（国・県）		<input checked="" type="checkbox"/> 町単独		<input type="checkbox"/> その他
事業概要	目的	豊かな感性と国際性を兼ね備えた将来を担う人材を育てる。			
	取組実績	平成13年度から那須町中学生海外派遣事業を実施している。			
	経過年度 事業実績	H30 11月11日～18日までの8日間オーストラリア・ケアンズ市へ16名参加 R1 11月10日～17日までの8日間オーストラリア・ケアンズ市へ16名参加 R2 新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止 R3 新型コロナウイルス感染症感染防止のため中止 【代替事業】 福島県天栄村のブリティッシュヒルズでの英語体験研修事業 （小学生と合同実施）			
		事業費 （単位：千円）		R1	R2
	決算額	5,448	0	472	
成果及び課題	成果	豊かな感性と国際性を兼ね備えた将来を担う人材を育てるためには必要な事業であるが、新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが立たない現時点においては、今までのような実施は困難である。			内部評価
	課題	英語や外国に対する興味が深まることや体験を通して学ぶ意欲を高めることで、キャリア教育にもつながるため、代替事業の充実を図る必要がある。			A
点検評価委員 からの主な意見	・コロナ禍により海外派遣が困難な状況であり、国内での事業参加を希望する応募人数が少ないが、英語体験研修が楽しい学習の場だということが理解されると応募人数も増加するのではないかと。参加生徒の報告の機会や研修の様子を配信するなどの工夫が必要である。 ・キャリア教育にもつながる良い事業であることから、新型コロナウイルス感染症収束後には、以前のようなオーストラリアへの海外派遣を実施して欲しい。				外部評価
					A
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 修正継続 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 廃止				

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和3年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

事業名	生涯学習推進事業				
担当課	生涯学習課生涯学習係				
制度区分	<input checked="" type="checkbox"/> 補助（国・県）		<input type="checkbox"/> 町単独		<input type="checkbox"/> その他
事業概要	目的	多様化した学習ニーズに応えるため、生涯学習の推進及び学習環境の充実を図る。 ・各種生涯学習講座の開催 ・成人式開催 ・自治公民館等施設整備費補助			
	取組実績	・和い輪い学習フォーラム 参加者 164名 ・成人式の開催 185名出席 ・社会教育委員会、公民館運営審議会の開催（感染症予防対策のため、生涯学習推進協議会は中止。） ・自治公民館等施設整備費補助金 上町自治公民館改修工事、西大久保公民館トイレ改修工事、下川公民館改修工事、西田自治公民館修繕工事、大石公民館改装工事			
	経過年度事業実績	○和い輪い学習フォーラム R2 136名 R1 81名 ○成人式 R2中止（成人者190名） R1 180名出席 ○人権教育指導者講座（県委託事業）R1のみ 参加者81名 ○自治公民館等施設整備費補助金 R2 実績件数 4件 R1 実績件数 2件			
	事業費 （単位：千円）		R1	R2	R3
	決算額	4,745	7,616	5,583	
成果及び課題	成果	学習機会は講座等で、学習内容は各会議等で協議し、多様化するニーズに応じている。 自治公民館等施設整備費補助金は、概ね要望どおり補助しており、地域の拠点となる施設の整備を促進している。			内部評価
	課題	感染症拡大防止の対策を行いながら事業を実施するため、実施内容の偏り、入場制限や制限時間が必要となってしまう。			A
点検評価委員からの主な意見	・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、事業の実施の人数制限や実施取りやめなどは、感染の拡大防止の為には、やむを得ない。感染症収束後には、以前のように活発に実施して欲しい。 ・コロナ禍でありながらも会場を分散化しオンラインとするなどの工夫をしており、ICTを活用した新しい生涯学習の推進と学習環境の充実を図っており素晴らしい。 ・大人と子どもが同じテーマで熟議を行うなどの生涯学習の機会により、将来を担う子どもの成長に良い効果が期待できるため、今後も継続して欲しい。 ・公民館等施設整備費補助金は、地域における社会教育活動の拠点整備に必要である。				外部評価
					A
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 事業拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 修正継続 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 廃止				

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和3年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

事業名	コミュニティ・スクール事業				
担当課	生涯学習課生涯学習係				
制度区分	<input type="checkbox"/> 補助（国・県）		<input checked="" type="checkbox"/> 町単独		<input type="checkbox"/> その他
事業概要	目的	「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」に取り組むため、地域住民等が学校運営全般に参画する仕組みとして全小中学校に学校運営協議会を設置し、学校教育支援を図る。 ・学校運営協議会委員報酬 ・地域教育コーディネーター報酬 ・研修会開催			
	取組実績	那須町版コミュニティ・スクールは、平成26年にスタートし令和2年度に全ての小中学校で学校運営協議会が設置され、各校特色ある活動を行っている。コミュニティ・スクール連絡会、地域教育コーディネーター研修会、学校支援ボランティア研修会などの開催。コミュニティ・スクール研修会は中止			
	経過年度事業実績	学校運営協議会設置 R2 那須中央中学校 R1 東陽小学校、学びの森小学校 H30 那須中学校 H29 那須高原小学校、田代友愛小学校、高久小学校、黒田原小学校 （～R2までは学校教育課の予算）			
		事業費 （単位：千円）		R1	R2
		決算額	3,350	4,400	4,380
成果及び課題	成果	地域住民等が学校運営全般に参画する仕組みができ、地域が学校や子どもたちに関わり、また、支援するために協議し、特色ある事業を実施している。			内部評価
	課題	学校運営協議会の発足時期が異なるため、事業活動がこれからという地域もある。			A
点検評価委員からの主な意見	・学校現場としては、地域住民等と学校の連携に重要な役割を持つコーディネーターは、大変ありがたい存在である。 コーディネーターの取り組みに応じた報酬を検討することも必要ではないか。				外部評価
					A
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 事業拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 修正継続 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 廃止				

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和3年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

事業名	町立公民館・自治公民館運営事業				
担当課	生涯学習課(那須公民館係・芦野公民館係・伊王野公民館係・高原公民館係)				
制度区分	<input type="checkbox"/> 補助(国・県)		<input checked="" type="checkbox"/> 町単独		<input type="checkbox"/> その他
事業概要	目的	町立4公民館(那須、芦野、伊王野、高原)において、社会教育法に規定される目的を達成するため、地域の学習拠点として、地域住民の学習ニーズに対応した各種学級・教室や文化・体育事業等を実施し、住民の生涯学習を推進する。また、那須町自治公民館活動支援交付金による自治公民館活動への支援を通して、町民の教養の向上、健康の増進及び生活文化の振興を促進する。			
	取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各種学級、教室…(那須)ふれあい学級「なかよし」、親子でトライ!(芦野)平成学園、なでしこ学級(伊王野)年輪学級、伊王野わいわい学級(高原)りんどう学級、女性学級(4公民館共催)那須を学ぶ、那須の子ども塾 ほか ・文化、体育事業等…(那須)ディスコン大会(芦野)ソフトボール大会、ゴルフ大会、芦野作品展(伊王野)高齢者スポーツ大会、伊王野地区作品展(高原)バドミントン大会、高原公民館作品展・企画展 ほか ・41自治公民館への活動支援交付金の交付。 			
	経過年度事業実績	各種学級・教室数	那須町自治公民館活動支援交付金(41自治公民館)		
		(R1) (R2) (R3)	(R1)	(R2)	(R3)
	那須 17 12 16	3,748,000円			
	芦野 9 11 12	3,753,000円			
	伊王野 10 8 14	3,734,000円			
	高原 18 12 15				
	計 54 43 57				
	事業費(単位:千円)		R1	R2	R3
		決算額	17,746	13,772	13,365
成果及び課題	成果	各種学級・教室参加者数(延べ)	4公民館 計		内部評価
		(R1) (R2) (R3)	(R1)	(R2)	
	那須 837 393 516	3,078	1,693	2,619	A
	芦野 469 609 773	令和3年度の参加者数は、前年比 約55%増。			
	伊王野 682 188 808				
	高原 1,090 503 522				
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の固定化、高齢化が進んでいるため、現在の活動を維持しつつ、新たな視点での講座を企画し、子育て世代や若年層への働きかけが必要である。 ・令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、自治公民館活動が減少しており、地域における自主的な生涯学習活動の活性化を目指す。 			
点検評価委員からの主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍にありながらも各種学級、教室の参加者が増加しており素晴らしい。 ・体育祭等の地域が一体と感じられる行事の実施を検討して欲しい。 				外部評価
					A
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 修正継続 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 廃止				

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和3年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

事業名	歴史探訪館管理運営事業				
担当課	生涯学習課文化振興係				
制度区分	<input type="checkbox"/> 補助（国・県）		<input checked="" type="checkbox"/> 町単独		<input type="checkbox"/> その他
事業概要	目的	那須歴史探訪館の維持管理を行うとともに、各種企画展を開催し本町の歴史や文化を幅広く伝える。			
	取組実績	〔令和3年度：企画展等〕 ・ 廃校の美術品-那須町ゆかりの写真と書画- ・ 七橋八坊三家老 ・ 鈴木精一の戦争体験 ・ 自然災害と文化財レスキュー ・ 伊王野氏の城館 〔令和3年度：施設管理〕 ・ 入館者数2,759人			
	経過年度事業実績	〔令和2年度：企画展等〕 ・ 「自然の宝庫！那須」313人 ・ 「街道から鉄道へ～道の昔話～」733人 ・ 「芦野氏-那須七騎から交代寄合へ～」1,122人 ・ 「新収蔵品展2019-2020」（前期・後期）539人 ・ 「那須のコロナな世相」 〔令和2年度：施設管理〕 ・ 入館者数2,801人			
	事業費 (単位：千円)		R1	R2	R3
	決算額	6,182 (内企画展 481)	5,032 (内企画展 676)	5,559 (内企画展 171)	
成果及び課題	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃校の美術品-那須町ゆかりの写真と書画- 831人 ・ 七橋八坊三家老 278人 ・ 鈴木精一の戦争体験 175人 ・ 自然災害と文化財レスキュー 731人 ・ 伊王野氏の城館 379人 			内部評価
	課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休館等により、以前の来館者数までには至っていない。 魅力ある企画展を実施し、来館者数を増加させたいが、予算削減により限られた範囲での企画展となってしまう。 施設も老朽化が進み、改修等が必要となっている。			A
点検評価委員からの主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力的な企画展が開催されており素晴らしい。 ・ 歴史探訪館を拠点とした芦野地域の総合的な観光誘客の仕組みづくりができると良い。 ・ 更に魅力的な企画展により入館者数を増加させるために、予算の確保も必要である。 				外部評価
					A
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 事業拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 修正継続 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 廃止				

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和3年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

事業名	図書館管理運営事業				
担当課	生涯学習課生涯学習係				
制度区分	<input type="checkbox"/> 補助（国・県）		<input type="checkbox"/> 町単独		<input checked="" type="checkbox"/> その他
事業概要	目的	町立図書館運営管理委託（指定管理）及び施設修繕を行う。			
	取組実績	（感染症拡大防止のため、閉館日が多かった。） 入館者数 34,026名（前年比 749名減） 貸出冊数 78,895冊（前年比 4,292冊減） 貸出人数 12,477名（前年比 913名減） ・吸排気口、床、換気窓、ドアノブ修繕工事（町修繕分）			
	経過年度事業実績	入館者数 R2 34,755名 R1 56,667名 貸出冊数 R2 83,187冊 R1 96,140冊 貸出人数 R2 13,390名 R1 16,159名			
		事業費 （単位：千円）		R1	R2
		決算額	44,797	45,206	45,958
成果及び課題	成果	協定書、仕様書等にそって、業務は予定どおり履行されている。 なお、令和3年度の指定管理者の管理運営状況に対する評価でも同様の評価を受けている。			内部評価
	課題	貸出人数及び貸出冊数が年々減少傾向にあることから、広域的連携など戦略的な図書館運営が必要である。一方で施設の改善が必要であり、今後のサービスや施設の在り方について検討する必要がある。			A
点検評価委員からの主な意見	・施設が老朽化しており、貸出人数や貸出冊数が減少傾向にあるが、ソフト面においてユニークな企画により、子どもの読書活動を推進しており、良く取り組んでいる。				外部評価
					A
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 事業拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 修正継続 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 廃止				

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和3年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

事業名	保健体育推進事業				
担当課	生涯学習課スポーツ振興係				
制度区分	<input type="checkbox"/> 補助（国・県）		<input checked="" type="checkbox"/> 町単独		<input type="checkbox"/> その他
事業概要	目的	町民が健康で活気にあふれ、生きがいある生活が送れるよう「町民一人1スポーツ」をスローガンに、子どもから高齢者までのスポーツによるまちづくりを推進する。 ・ 駅伝大会等開催 ・ 全国大会等出場選手激励 ・ 町体育協会補助 等			
	取組実績	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった事業もあったが、実施可能な事業は感染症対策等を講じたうえで実施した。 全国大会等出場選手激励については、延べ31件の出場者に対し奨励費の交付を行った。 【実施事業】ニュースポーツ出前教室:7回134人、体力測定:2回34人、町民ゴルフ大会(春):175人、町民ゴルフ大会(秋):112人、ジュニアゴルフ大会:148人、町レクリエーション大会:67人 【中止事業】町駅伝大会 等			
	経過年度事業実績	○ニュースポーツ出前教室(R1-20回840人、R2-7回124人、R3-7回134人) ○体力測定(R1-2回11人、R2-2回17人、R3-2回34人) ○町駅伝大会(R1-49T、R2-中止、R3-中止) ○町民ゴルフ大会(R1-2回290人、R2-1回140人、R3-2回287人) ○ジュニアゴルフ大会(R1-134人、R2-中止、R3-148人) ○町レクリエーション大会(R1-31人、R2-81人、R3-67人) ○全国大会等出場選手激励(R1-53件、R2-17件、R3-31件)			
	事業費 (単位：千円)		R1	R2	R3
	決算額	23,617	7,007	5,907	
成果及び課題	成果	各種大会等は関係者の協力のもと幅広い年代に対し、スポーツに触れる場の提供ができた。また、全国大会出場選手激励は、対象者に遅滞なく奨励費の交付を行うことができた。 町体育（スポーツ）協会事業については、各専門部への運営費補助を行うことで継続的な団体育成を図ることができた。			内部評価
	課題	全国大会等出場選手の奨励費交付に関して、現状、事務の流れや提出書類等が不透明であるため、事務手続きを明確（申請制、結果報告の実施等）にする必要がある。			A
点検評価委員からの主な意見	・ 町体育協会各専門部の加盟人数が減少傾向にあるが、町民一人1スポーツを推進するためにも新たな部員の確保に努める必要がある。			外部評価	
					A
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 事業拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 修正継続 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 廃止				

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い

令和3年度那須町教育委員会事務事業点検評価調書

事業名	スイミングドーム管理運営事業				
担当課	生涯学習課施設管理係				
制度区分	<input type="checkbox"/> 補助（国・県）		<input checked="" type="checkbox"/> 町単独		<input type="checkbox"/> その他
事業概要	目的	スイミングドーム運営管理業務委託（指定管理）及び修繕を行う。余笹川ふれあい公園遊具設置を行う。			
	取組実績	令和3年度のスイミングドーム利用者は35,599人（前年度比5,463人増）となったが、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館等によりコロナ禍前（平成30年度：45,339人）の利用者数からは約1万人少ない状況である。余笹川ふれあい公園の利用者は12,578人（前年度比1,231人増）であり、昨年度同様、那須九尾まつりの中止等、イベント開催の中止が多かった。			
	経過年度 事業実績	○スイミングドーム 利用者 H30 45,339人 R1 43,602人 R2 30,136人 R3 35,599人	○余笹川ふれあい公園 H30 25,633人（九尾まつり中止） R1 76,721人 R2 11,347人（九尾まつり中止） R3 12,578人（九尾まつり中止）	指定管理料：年額45,000千円（税抜） ※R1：冷温水発生機交換工事26,532千円	
	事業費 （単位：千円）	決算額	R1 88,769	R2 52,540	R3 55,106
成果及び課題	成果	指定管理者（環境整備株式会社）において、協定書及び仕様書等に基づき、利用者の安全第一を最優先とした管理運営業務がなされている。 令和3年度の指定管理者の管理運営状況に対する評価において、良好な施設の運営状況の評価を受けた。			内部評価
	課題	当施設は、平成8年開設以来25年が経過していることから施設の老朽化が進み、特に機械設備の段階的な修繕等を実施していく必要がある。また、原油価格の高騰による光熱水費等の経費の増加が懸念される。			A
点検評価委員からの主な意見	・施設の老朽化による修繕費用や原油価格の高騰による光熱水費の増加など、施設の維持管理が厳しいと思われるが、利用者も多く、町にとっては必要な施設である。 ・学校施設の計画的な改修を進める場合は、学校プールを改修せずに、子どもたちのプール授業をスイミングドームで実施するなどの検討も必要である。 ・余笹川ふれあい公園は、管理が行き届いており、きれいで良い場所である。子ども連れの家族も多く利用されていることから遊具の充実を検討して欲しい。			外部評価 A	
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 事業拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 修正継続 <input type="checkbox"/> 規模縮小 <input type="checkbox"/> 代替事業の検討 <input type="checkbox"/> 他事業との統合 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 廃止				

評価 A:達成されている B:概ね達成されている C:達成状況は低い